

第6回「天気の見方」講座に参加して

第21期登山学校 河本明生記

■机上講座

- ・日時 平成28年11月5日(土)
- ・場所 北浦和カルタスホールにて

0930～「天気の見方講座」駒崎講師

気象という自然現象を飽和水蒸気から始まり登山にとって必要な知識を(天気図の見方、観天望気を知るための雲の種類や動きなど)順を追って体系的に説明いただき理解できた。

1230～「天気図の利用(地上から高層)そして雷と火山 山口講師

山口講師の説明は午前の内容をさらに気象を立体的にとらえる。高層天気図と大気の循環を地上から高層へと気圧の変化に伴う動きを天気図を使って説明いただき更に理解が深まった。また、登山に必要な低体温症や雷の対策。それに対する心構えを説明いただいた。

■実技講座

- ・日時 平成28年11月6日(日)
- ・場所 山梨県 岩殿山(中央線大月駅)
- ・班編成3班 班長:中平良子 副班長:石原佳子 記録:河本明生
- ・実技内容 空を見上げて雲について学ぶ
- ・行動記録(時間・通過点・観天望気の状態その他)

0930 大月駅前出発	・雲一つない快晴
0953 登山口到着	・雲一つない快晴
1008 岩殿山ふれあいの館到着	・ストレッチを行う。富士山眺望素晴らしい
1048 岩殿山山頂到着	・ふれあい館より急登が続き一気に高度を稼ぐ
1052 山頂出発	・机上講習で快晴の特徴として山肌に霞がかかる。
1114 送電線1下 通過	・途中兜岩そばの岩場にロープを伝ってトラバース。 ・途中滑落しないように慎重に歩きます。 ・兜岩からさらに登ると標高592mの天神山へ到着。
1241 送電線2下 通過	・ところどころ岩場や鎖場があり。ひるむも進む。 ・上空方面に層雲が発生しだした。

1357 下山

・今回の実技の目的は「雲について学ぶ」ことであったが天候に恵まれず?雲一つない快晴であった。

しかし、14時ごろから南南東(富士山と岩殿山の位置からして)方面に高層雲が観察された。

ただし、雲の位置と風向きや距離から岩殿山への影響はなさそうだ。かな?

また、今回のコースには岩場・鎖場があり、一つ誤れば命を落としかねない箇所があり運動・体力がまちまちの受講生をよくぞ歩かせた学校側の度胸に感心した。「この程度を乗り越えなければ登山をする意味がない」ととらえればよいのかな?

平成 28 年 11 月 8 日

第四班記録係 北村 公和（記）

埼玉県勤労者山岳連盟第 2 1 期登山学校「天気の見方」講座

1. 【机上講座】

日 時：11 月 5 日（土）9：30-16：30

場 所：北浦和カルタスホール

講 師：駒崎講師、山口講師

四班参加：福田陽子、新井孝文、池田稔、上田真紀子、北村（記）

1-1. [講義内容]

① 天気の基本

天気図の構成要素（風向・風力・天気・気圧・等圧線・高気圧・低気圧・前線）や
天気図の種類（地上天気図・高層天気図）など天気の基本を学ぶ。

② 観天望気

雲の形や高さ・方向・風の流れなどから天気を判断する観天望気を学ぶ。

また観天望気をするための山の特性（高度と気温・体感温度・緯度・標高）を説明して頂いた。

③ 天気図の利用、雷と火山

更に専門的な高層天気図（850/700hPa・500hPa・300/200hPa）の見方や活用の方法などを学ぶ。その他、雷に遭遇した際の安全な場所や危険な場所などを解説頂き、低体温症の要因と対策、そして登山をする際の火山情報の事前注意事項などを講義して頂いた。

1-2. [感想]

① 今まで天気予報と言えば、天候と気温、風力くらいしか気にしていなかったが、天気図の読み方や観天望気など、登山のリスクヘッジをするための知識を学ぶことができ、とても有意義な講義だった。

② 午後の専門的な天気図の講義は、とても難しかったが、とても興味が湧いた講義で、もう少し講義時間を割いて頂く機会があればと思った。

③ 昔はラジオを聴きながら自分で天気図を作成していたことを知り、哑然とした。やはり自分で学び、自分で知識を蓄え、実践して行く先達の方々の経験は貴重であると改めて思った。

最後に、駒崎講師、山口講師とも熱心に、そして丁寧に講義頂きありがとうございました。講義資料などもしっかりと構成されていて分かりやすかったです。

2. 【実技講習】

日 時：11 月 6 日（日）9：40 - 14：35

場 所：岩殿山

講 師：武笠校長、高橋講師

四班参加：上田真紀子（班長）、福田陽子（副班長）、池田稔、北村（記）

2-1. [実技内容]

「観天望気」空を見上げて雲について学ぶ

- 9 : 40 JR 大月駅出発
本日の実技内容の「空を見上げ雲について学ぶ」だが、雲一つない快晴に恵まれ、複雑な気持ちに…。
- 10 : 05~10 : 25 岩殿山ふれあいの館
大月駅を出発して急階段を上り到着。全員で入念な準備運動を行う。各自トイレ休憩を取った後、山頂目指して出発
- 10 : 40~10 : 50 岩殿山山頂
更に急な階段を上り山頂に到着。晴れ渡る空に富士山が、とても美しかった。全員の集合写真を撮る予定だったが、ハイカーが多いので中止。依然、雲一つない秋晴れが続く。
- 11 : 10~11 : 15 第一鉄塔
懸念された鎖場だが、実習で教わった登り方や指導員の方々のアドバイスで四班全員、無事に登りきる。第一鉄塔で暫し休憩を取る。
- 11 : 35~ 「積雲」現れる
西南西の空から、今日初めての雲が現われ歓喜の声があがる。四班全員で「積雲」であることを確認する。昨日の講義の内容を初めて実践した。
- 12 : 15~13 : 00 稚児落とし到着
気持ちの良い尾根を歩いて稚児落としに到着。30分ほど、昼食の休憩を取る。
- 14 : 35 大月駅到着

2-2. [感想]

- ① 空を見上げて雲について学ぶ「観天望気」の実践実技が目的だったので、快晴の秋晴れは嬉しかったが、やはり雲の勉強を実践でしなかったのが、残念だった。今後の山行で、講義で学んだ雲の種類など確認して、観天望気を意識した登山を実践して行きたい。
- ② 四班全員、講師の方々のアドバイスやご指導により、全員無事に山行を終えることが出来ました。しかし受講者4名だけの確認だけでなく講師の方々を含めた6名全員への気配りや状態確認などが疎かになっていたことなど反省すべき点も多かった山行となった。今回、ご指摘を受けたことを踏まえ、次回から経験を活かして行きたい。

二日間に渡り、ご指導及びご配慮を頂いた運営委員の方々に感謝いたします。

以上、

日時： 11月6日（日）

場所：山梨県 大月 「岩殿山」634m

コース：大月駅－岩殿山ふれあいの館－山頂－兜岩－稚児落とし－浅利集落－大月駅

（歩行時間 3時間30分）

実技内容：「観天望気」空を見上げて雲について学ぶ

大月駅 9:30に集合し簡易チェストハーネスを着用する。昨日の机上講座の説明で本日は簡易チェストハーネスを着用することを知り何回か自宅で着用を練習したが運営委員の方に間違いを指摘され着用をし直した。

自分だけで着用できるように再度練習をしなければと思った。

9:40 大月駅を出発し 佐藤第五班班長、副班長 岡、記録の宮田、濱田、駒崎運営委員、高野運営で出発した。

9:54 登山道に入り 岩殿山ふれあいの館まで階段が続いていた。天気は雲のない晴天 富士山がくっきり見えるまたとない登山日和だった。岩殿山ふれあいの館でストレッチ体操をし山頂を目指して登り始める。約20分ぐらいで山頂に到着、全部の班が登山をされるのを待ち 休憩する。全体での記念写真を撮る予定であったがほかの登山者が多く諦めて出発することになった。

どんな山なのかインターネットで登山者のブログを読み、危険な山だとわかっていたが兜岩から稚児落としまで私にとってはスリリングな体験をすることができた。昼食の稚児落としでは下を見ないようにしながら食事をとり、13:21に下山し 30分道路を歩き無事に大月駅に到着し体操と各班での反省会し解散となった。

「観天望気」空を見上げて雲について学ぶの実技内容としては天気が良すぎて少し離れた山に積雲が見えるにとどまった。無事に下山できて班員の皆さん、運営委員方々に感謝いたします。

ありがとうございました。

以上